

平成28年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 鎌 田 修 悦

そ う せ い 齊 藤 勝

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

フロンティア秋田 小 林 一 夫

社 会 ・ 市 民 連 合 藤 枝 隆 博

共 産 党 佐 藤 純 子

秋 水 会 田 中 勉

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

秋 水 会 菅 原 琢 哉



1 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略等について

- (1) 「老年人口の増加を踏まえた本市独自の視点」とは、具体的にどのような視点か
- (2) 秋田市人口ビジョンでは、国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率に準拠し、2040年の人口を約26万人としているが、どのようにしてこの数値を達成しようと考えているのか
- (3) 本来、地域の活性化は、自治体がみずから調査し、考え、行動すべきものとするが、国主導の一律的な考えに基づいた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」をどのように評価しているのか
- (4) 地方創生をどう認識し、事業展開を考えているのか
- (5) 本市への移住や就職、観光や特産品等の情報を発信するため、首都圏へビジネス的視点を持った交流拠点を設置する考えはないか
- (6) 約80%の自治体で地域活性化に係る事業を推進する人材が不足しているとの報道があるが、本市の実態はどうなっているのか

2 人口減少が将来の本市行政に与える影響について

- (1) 出生率を上げる効果的な施策とは、具体的にどのようなものか
- (2) 人口減少に伴い市税等の歳入も大幅に減少となるが、歳入の確保をどう考えているのか
- (3) 老朽化した公共施設の改修等について
  - ア 秋田市市有建築物中長期保全計画の試算では、今後40年間で約26%の総量縮減が求められているが、縮減対象をどのように考えているのか、また、縮減の基準はあるのか
  - イ 公共施設の縮減等に際し、公共施設最適化事業債の活用を考えているのか
  - ウ 2040年における市道延長は、生産年齢人口1人当たり2010年比約1.9倍になるとされているが、適切な維持管理について、どのように考えているのか

エ 財務省の財政制度等審議会は、将来的に下水道の更新費用や維持管理費が増大するとして使用料を引き上げるよう提言しているが、対応を検討しているのか

オ 将来的な児童生徒数の減少や介護認定者数の増加をかんがみ、保育所と介護施設の併設を考えていく必要があると思うがどうか

(4) 空き家の増加と対策について

ア 秋田市空き家等の適正管理に関する条例の規定により、立入調査・指導・勧告等を行った事例はあるのか、また、その結果はどうであったのか

イ 老朽危険空き家等解体撤去補助金の交付実績はどうか、また、相続人等への周知方法についての考えはどうか

ウ 空家等対策の推進に関する特別措置法の施行により、同法に定める特定空家等については行政代執行により強制撤去することが可能となったが、本市において行政代執行をするに当たり、撤去費用などの課題をどのように整理しているのか

(5) 救急出動について

ア 平成27年の救急出動の実績において、緊急性が低いと思われる出動はどれくらいあったのか、また、その判断基準はどうなっているのか

イ 転院搬送における救急車の利用を含め、救急車の適正利用についてどのように取り組んでいくのか

3 教育行政について

(1) 教員免許更新制について

ア 本市において、教員免許を失効した事例はあるのか、また、一般論として、免許を失効していた教員による授業の取り扱いと児童生徒への対応はどうか

(2) 市立中学校において、私立高校の推薦に向けた校内の選考はどのように行われているのか

(3) 小中学校の適正規模・適正配置について

ア 秋田市小・中学校適正配置検討委員会の提言では、小学校では1学年2学級以上、中学校では1学年4学級以上としているが、将来的にこの要件を満たさない小中学校への対応について、どのように考えているのか

イ 同提言では、通学条件のおおよその目安として、小学校は4キロメートル以内、中学校は6キロメートル以内、通学時間はともに1時間以内としているが、現在の本市の児童生徒の通学状況はどうなっているのか

#### 4 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）等について

(1) 住民基本台帳カードの交付は、本市の行政の効率化にどの程度寄与したと考えているのか

(2) 本市における個人番号カードの申請状況はどうなっているのか、また、交付までの手続きがスムーズに行われていないようであるが、その原因は何か

(3) 個人番号カードの交付によって、住民基本台帳カード以上に本市行政の効率化が図られるのか、また、普及のためのPRについて、どのように取り組んでいくのか

#### 5 過疎地域の自立促進について

(1) 過疎対策事業債及び過疎地域自立促進計画事業費は年々減少しているが、今後の推移をどう考えているのか、また、過疎地域自立促進特別措置法は平成32年度で効力を失うが、実施している事業の扱いはどうなるのか

#### 6 障害者就労施設等からの物品等の調達について

(1) 本市における障害者就労施設等からの物品等の調達状況の推移はどうなっているのか、また、今後の推進への取り組みについて、どのように考えているのか

## 7 大森山動物園の運営について

- (1) 現在同園で飼育されている貴重な動物にも命の限界があることに加え、動物の捕獲に関する社会的状況も変化しているが、今後の同園の運営方針と予算について、どのように考えているのか

## 8 受動喫煙の防止について

- (1) 将来的に本庁舎敷地内を禁煙とする考えはあるのか

## 9 財政について

- (1) 臨時財政対策債について

ア 臨時財政対策債の発行に際し留意している点は何か、また、経常収支比率の見かけ上の悪化をいとわず、満額発行しないという選択肢は考えられないのか

イ 国の地方交付税の財源不足の状況を踏まえ、今後の本市の臨時財政対策債の発行は、どのように推移していくのか

- (2) 市税及び国民健康保険税における不納欠損処分等について

ア 平成26年度における滞納者に対する財産差し押さえの状況と充当状況はどうか、また、負担の公平性は保たれていると考えているのか

イ 不納欠損処分の理由は生活困窮や自己破産等であるが、処分に至る調査や手続、判断基準はどうなっているのか

- (3) きずなでホットしていききた寄附金（ふるさと納税）について

ア 「ふるさと」の定義が明確でない中、市外在住の方が本市をふるさとと思い寄附をしているが、寄せられたメッセージをかんがみ、寄附金の用途には十分に意を用いるべきと思うがどうか

イ 寄附金の総額から諸経費と税額控除分を差し引いた寄附のおおむねの状況はどうか、また、その状況を踏まえ、今後のきずなでホットしていききた寄附金の取り組みをどのように考えるのか

## 10 日本版C C R C構想について

(1) 本市は、同構想に関するメリット及びデメリットをどう考えているのか、また、今後、積極的に推進する考えはあるのか

11 市長の政治姿勢について

(1) 企業誘致や設備投資への助成拡充により約1,700人の新規雇用につながったとしているが、企業誘致や設備投資、新規雇用の具体的内容はどうなっているのか、また、部局の再編に伴い、今後の取り組みはどう変わるのか

(2) 年度途中で待機児童が発生する理由とその対応はどうなっているのか

(3) 現県民会館所在地を建設候補地としている県・市連携文化施設整備は、駐車場問題が浮上しているが、同所在地を建設地と決定する意思はあるのか

(4) 旧県立美術館の活用策は決定したのか、また、県からの譲渡のあり方や耐震を含めた改修工事の実施について、どのように考えているのか

(5) 泉・外旭川新駅（仮称）の設置について、議会が設置に係る本格予算を認めなくとも、設置するとした市長の考えは変わらないとの理解でよいか、また、同駅の設置により、中心市街地は活性化すると考えているのか

(6) イオンタウン株式会社の外旭川地区大型複合商業施設構想は、県全体の商業や本市の中心市街地の経済に影響を及ぼすとしているが、具体的にどのような影響があると考えているのか



1 災害対策について

- (1) 避難所として近くの公共施設を一時的に利用する可能性が高いと思われるが、その際の物資等の供給についてどのような対応を考えているのか、また、そのおのおののニーズの把握はどのように行うのか
- (2) 現在本市で備蓄している簡易トイレや飲料水等はどの程度の災害に対応できる数量なのか
- (3) 車中等での避難生活を余儀なくされた場合、健康管理面における対応をどのように考えているのか
- (4) 福祉避難所としてあらかじめ指定施設と受け入れ枠を定めておくことや、介護福祉系の学校等も福祉避難所として指定することができないか、また、対象者へ福祉避難所をどのように周知していくのか
- (5) 本市では被災された方、特に高齢者の心のケアにどのように取り組んでいくのか
- (6) 津波が雄物川を遡上した場合、仁井田、豊岩両浄水場にどのような影響があるのか、また、対策はどのように進められているのか
- (7) 災害時における保育所等での子供の受け入れ体制について、訓練やマニュアルの作成などにより具体的な準備を進めるべきと考えるがどうか

2 施設名の命名について

- (1) 本市の公共施設における片仮名表記の愛称は、エイジフレンドリーシティ構想を実現するという観点からも十分な検討がなされた上で命名されたものであるのか、また、そうである場合は、今後も片仮名表記による命名はあり得るのか

3 観光行政について

- (1) 現在取り組んでいる観光客誘致の施策はどのようなものがあるのか
- (2) 観光客誘致策として、今後民間の複合施設等建設の受け入れは考え

られないか

- (3) 本市への外国人観光客数は年間どのくらいあるのか、また、東京オリンピック・パラリンピック開催時の外国人観光客誘致に向けた取り組みはしているのか

#### 4 「秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想」について

- (1) 同構想に関して、市民の意見を聞く場を設け再検証できないのか  
(2) 市民・民間企業・本市で同構想に関する勉強会や意見交換会を実施できないか

#### 5 人口減少対策について

- (1) 2040年には約23万5,000人と推計される人口減を約26万人に食い止めたいとのことであるが、本市の待ったなしの現状を打破する起爆剤となり得る具体的な策として、今後どのようなことに取り組んでいくつもりなのか  
(2) 「暮らしの豊かさを実感できるまち」とは、世帯所得がふえ、交通の便がよく、老若男女問わず住みよいまちであると解釈するが、雇用の問題、公共交通機関等の充実、若者の定住を図る上で不可欠であると思われる魅力的なまちづくりについて、おのこの具体策は何か

#### 6 小中学校の適正配置について

- (1) 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言を受け、今後、小中学校の適正配置について、どのように進めていくのか  
(2) 人口減少対策としての「学校を核とした地域づくり」と、学校の適正配置との関係をどのようにとらえ、今後小中学校の適正配置について検討していくのか

#### 7 野良猫問題について

- (1) 本市における野良猫の数について、どのように把握しているのか  
(2) 野良猫に関する住民トラブルや苦情はどのような状況なのか

(3) 野良猫問題をどのように認識しているのか

(4) 今後、野良猫問題にどのように取り組んでいくのか



## 1 歴代市長の思いから続く市政の今後の方向性について

- (1) 本市を表現するイメージキャラクターをつくり、県内のキャラクターを巻き込んだイベントの開催などを検討してはどうか
- (2) プロスポーツが活発になることにより、市民のスポーツ活動が影響を受けることがないように、スポーツ施設の再整備が必要と思うがどうか
- (3) 地域住民が取り組んでいるホテルの生息環境を保全する活動に対する本市の取り組みはどうか
- (4) 秋田市文化振興助成事業のうち学術助成の申請が近年は少ないことから、内容をわかりやすく周知すべきと考えるがどうか
- (5) 秋田市民憲章推進協議会が市民憲章に係る事業を実施しているが、財源の確保に苦慮していることから、補助制度を見直す考えはないか
- (6) 市民の斎場使用料を無料としてきたが、全国的に見直しがされていることから、再考すべきではないか

## 2 新庁舎の開庁に伴う新たな市民サービス等について

- (1) 新庁舎への移転に伴い職員に負荷がかかっていることから、通常業務に支障を来さないよう、代休等の取得などにより、心身のリフレッシュを積極的に促すべきと考えるがどうか
- (2) 新庁舎への移転を契機に、ホームページを閲覧しやすいようリニューアルすべきではないか
- (3) 新庁舎への来庁目的は多様であり、今後も見込んだ以上に来庁者がふえ駐車場の混雑が予測されることから、取りやめた地下駐車場を再検討する考えはないか

## 3 県・市連携文化施設の整備について

- (1) 駐車場確保の手法の一つとして、秋田駅東口周辺の駐車場との連携を検討してはどうか

#### 4 地域防災への取り組みについて

- (1) 消防団員の増員に向けた取り組みはどうか、また、消防団員の入団年齢制限を緩和する考えはないか
- (2) 災害発生時における消防団と自主防災組織のそれぞれの役割は何か、また、災害弱者に対する協力体制はとれているのか

#### 5 園芸作物の重点品目について

- (1) ふるさと雇用再生臨時対策基金事業を利用した「秋田七野」について、キャラクター等は現在活用しているのか
- (2) 園芸作物の重点品目の販売量及び販売額は増加しているのか
- (3) ダリアなど、県外で評価の高いものは多様な販路の拡大に取り組み、ハウレンソウなどの野菜は地産地消の拡大を目指すなど、重点品目ごとに目標を絞って戦略的な事業を行うべきと考えるがどうか

#### 6 本市の景観向上について

- (1) 無電柱化を積極的に推進すべきと考えるが、本市における電線共同溝整備事業の現状と課題、今後の取り組みはどうか

#### 7 親しみやすい選挙への取り組みについて

- (1) 選挙公報の掲載文に写真の掲載を認めてはどうか
- (2) 秋田公立美術大学附属高等学院で行った出前授業の内容及び生徒の反応はどうか

#### 8 子供たちにもものづくりの楽しさを伝える取り組みについて

- (1) 本市で活躍するものづくりの技術を持つ方々による催しを、小中学生に周知してはどうか

#### 9 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者制度を導入している施設について、サービスの提供など

の市民満足度をどのように把握し、どのように評価しているのか、また、評価結果及び評価後の指導はどうか

10 高齢者の自動車運転について

- (1) 高齢ドライバーの交通事故防止策として、ドライブレコーダーの貸し出しや軽度認知障がいなどの方が運転する危険性の啓発を行ってはどうか



1 市長の政治姿勢について

(1) 消費税増税再延期について

ア 消費税増税の再延期と国の財政再建が先送りされることに対する市長の見解について

イ これまでのアベノミクスの経済政策に対する評価について

ウ 本市の社会保障政策、経済に及ぼす影響及び今後の対策について

2 地方創生推進交付金について

(1) 庁内から推進交付金を活用する事業として提案のあった事業名及び事業費について

(2) 先駆タイプ、横展開タイプ、隘路打開タイプ別の事業数について

(3) 国に申請した事業名及びその理由について

3 県・市連携文化施設整備方針等について

(1) 整備構想、基本計画、整備方針に関する意見交換会やパブリックコメントで出された意見の中で、建設候補地、駐車場、施設機能、施設建設中の代替施設等についてどのような取り扱いがなされたのか

(2) 県、市の建設費及び維持管理費の負担割合について

(3) 国の助成制度、有利な起債、基金の積み立て等の財源について、どのように考えているのか

4 秋田市中心市街地活性化基本計画について

(1) 第1期秋田市中心市街地活性化基本計画について

ア 中通一丁目地区市街地再開発事業の総括について

イ 未実施事業になった理由と今後の対応について

(2) 秋田市中心市街地活性化アクションプランについて

ア 目標値の調査結果の分析について

イ 目標達成に向けた施策の状況について

- (3) 第2期秋田市中心市街地活性化基本計画について
  - ア 秋田版C C R Cについて
  - イ 旧秋田魁新報社跡地への商業施設の整備について
  - ウ (仮称)秋田駅周辺J R用地活用推進事業について

5 秋田市公共交通政策ビジョンについて

- (1) 第1次秋田市公共交通政策ビジョンについて
  - ア 実施済み事業の効果について
  - イ 未実施事業への今後の対応について
- (2) 第2次秋田市公共交通政策ビジョンについて
  - ア 路線バス、マイタウン・バスの利便性の向上について
  - イ 新たな運行形態の確立に向けた検討について
  - ウ スクールバス等の活用の検討について
  - エ 公共交通機関利用の促進について
- (3) 交通系I Cカードの導入について
  - ア 導入した場合のメリットについて
  - イ 導入する場合の課題について
  - ウ 導入に向けた今後の取り組みについて
- (4) 高齢者コインバスについて
  - ア 65歳までの対象年齢の引き下げについて
  - イ 資格証明書のサイズの小型化について

6 平成27年度包括外部監査報告書について

- (1) 介護保険事業について
  - ア 介護保険料の滞納整理における電話や訪問などの納付を促す取り組みの展開について
  - イ 介護保険料の不納欠損処分の統一的で適切な運用について
  - ウ 介護保険料の収納改善に向けた賦課、徴収体制の見直しについて
  - エ 事務執行における職員数の確保について

## 7 PCB廃棄物について

- (1) 市で保管している廃棄物の種類と量について
- (2) 保管場所と管理状況について
- (3) 処理の時期について
- (4) 民間で保管している廃棄物の種類と処理状況について

## 8 秋田市T P P農業関連対策基本方針について

- (1) 生産体制強化の対象である米・畑作物、園芸作物、果樹、畜産、林業の現状とその強化対策について
- (2) 農産物の販売競争力の強化と販路の拡大について
- (3) 意欲ある担い手の育成と法人化支援について
- (4) 6次産業化と農商工連携の促進について

## 9 御所野学院について

- (1) 中学校入学者や高校進学者の減少の要因について
- (2) 連携型中高一貫校を目指すとした検討プロジェクトのこれまでの経緯について
- (3) 連携型中高一貫校にした場合について
  - ア 御所野小学校の中学校学区について
  - イ 連携可能な中学校について
  - ウ 連携する中学校、学院高校の教育課程の編成について
  - エ 連携する中学校への他学区からの入学について
  - オ 連携する中学校から学院高校を受験する場合の特別枠について
- (4) 入学希望者が多くなるような魅力ある学院高校づくりについて



1 市長の政治姿勢について

(1) 安全保障関連法について

ア 同法成立までの審議内容と強行採決に至る経過と、国民世論を踏まえた政府の説明責任に対する市長の認識はどうか

イ 本土最後の空襲被爆地、また「非核平和宣言都市」の市長として、このたびのオバマ大統領の広島訪問をどのように受けとめ、平和の実現に向けてどのように考えているのか

2 新庁舎におけるサービス向上の取り組みと改善点について

(1) 総合窓口やセンタースの利用者からの評価はどうか、また、要望を踏まえた改善点はあるのか

(2) 職員からの新庁舎における課題や問題点について、どのように把握しサービス向上に反映させようとしているのか

(3) 市民の座の吹き抜け空間を利用したイベント等についての考えはあるのか

3 県・市連携文化施設等について

(1) 同施設利用者が近隣民間駐車場を利用した場合、無料化または割引券を発行するなどの考えはないか

(2) 市文化会館の利用者から、新文化施設との機能や目的、立地条件の違いなどから、市文化会館の存続を嘆願されているが、存続に向けた考えはないのか

(3) 旧県立美術館の存続と利活用には多額の予算が伴うが、耐震化を含む改修工事費と年間ランニングコストは幾らか、また、運営主体については、県または県市共同にすることが妥当と考えるがどうか

4 中心市街地の活性化について

(1) 国民文化祭、東北六魂祭及び食と芸能大祭典などの大規模なイベン

ト終幕後の総括と、その経験を生かした今後の展望はどうか

- (2) 食と芸能大祭典は約13万人の集客があったが、中心市街地の交通渋滞や駐車場のトラブルなど、苦情の有無について把握しているのか
- (3) エリアなかいちにおける活性化を図るために、交流人口をふやし、人が回遊するまちづくりに向け、商業振興と経済効果が期待できるビジョンや施策などの具体はあるのか
- (4) 中心市街地商業集積促進事業の実績と効果はどうか、また、今後の事業展開についてどう考えているのか
- (5) 県・市・JR東日本株式会社の三者による連携協定後の事業内容が不透明であるが、取り組みは進行しているのか、また、国の地方創生事業の一環で推進する秋田版CCRCの整備計画についての進展はどうか
- (6) 駐車場で共通使用できるICカードを整備する考えはないか

## 5 地域づくり交付金について

- (1) 地域づくり交付金事業に伴う活動について、評価と課題はどうか、また、同事業は当分の間継続する考えなのか
- (2) 地域のにぎわいづくりや秋田のブランドづくり、また、起業につながる支援についての考えはあるのか
- (3) 同一事業を5年以上継続している団体に対し、6年目以降も同交付金の対象とする考えはないか

## 6 災害に強いまちづくりについて

- (1) 災害対策本部室を拠点とした防災訓練について、今後どのような日程、規模で計画しているのか、また、各市民サービスセンターとの連携についてはどうか
- (2) 災害対策本部における情報一元化やデータ管理、さらにシステム操作の習熟度を上げるために専門職員の養成が必要と考えるがどうか
- (3) 消防団員の減少が心配されているが、本市の消防団員の現状はどうか、また、機能別消防団員の確保に向けた取り組みはどうか

- (4) 本市では建物の耐震改修を呼びかけているが、その実績はどうか、また、戸別耐震シェルターの普及に向けた取り組みは考えていないのか
- (5) 災害時に罹災証明書の発行と申請手続を迅速に進めるため、あらかじめ必要な添付書類や申請方法などを市民へ周知する必要はないか
- (6) 災害時の捜索活動や被害実態調査等にドローンの活用が注目されているが、本市における災害時のドローン活用への考えはどうか
- (7) 地域別の防災訓練がマンネリ化しているとの意見もあることから、各家庭においてライフラインを一切使用しない生活を長時間試みるなど、「自助」の防災意識を高めるための全市一斉訓練を実施する考えはないか

## 7 スポーツ振興について

- (1) スポーツ少年団について
  - ア 指導者研修は、スポーツ少年団の基本的育成目標に沿って適切に行われているのか
  - イ 小学生のスポーツ選手減少の対策について、どのように考えているのか
- (2) スポーツ施設の改善について
  - ア 本市の野球場の環境整備を図る必要があると考えるがどうか
  - イ グラウンドゴルフの普及とコース新設に向けた取り組みを行う考えはないか
- (3) 子供から高齢者まで、季節にかかわらず安全に楽しめるフロアカーリングについて、各市民サービスセンターへの用具の配置状況はどうか
- (4) ねんりんピック秋田2017の成功に向けた取り組み状況はどうか

## 8 秋田商業高校について

- (1) 同校の特徴を生かしたキャリア教育の中にある、起業家精神を養い実践する人材づくりをさらに進めるため、「起業科」を設立する考え

はないか

- (2) 同校と秋田公立美術大学との共同による商品開発や、商業美術や景観デザインなど学業の連携を試みる考えはないか

9 西部地域の振興とまちづくりについて

(1) 新屋のまちづくりについて

ア 新屋勝平地区における空き家対策を積極的に推し進め、居住環境の向上を図る考えはないか

イ 新屋まちづくり拠点施設と秋田公立美術大学の連携により多彩なイベントを開催するなど、回遊性を高めたまちづくりを進める考えはないか

ウ 大森山公園や浜田森林総合公園などの地域資源を生かし、観光施設やスポーツ施設の整備を進め、魅力ある公園ゾーンづくりを行う考えはないか

(2) 秋田公立美術大学と地域交流促進を考えたまちづくりについて

ア 秋美アートプロジェクトに対する本市の支援内容と今後の取り組みについて

イ 同大学は、今後大学院の設置が計画されているが、短期大学当時から敷地面積が同じであり、創作活動を行う工房等が手狭で不便を強いられていることから、隣接する民間遊休地を有効活用する考えはないか

ウ 同大学の図書館において、地元新屋に関する書籍や資料が少ないことから、新たに配置し、新屋地域に関する造詣を深める一助とする考えはないか

エ 学生に交付している千秋美術館及び県立美術館の利用券について、他の県内美術館でも対応できるよう拡大する考えはないか

オ 新屋地区の空き家を、同大学の教員及び学生がシェアハウスやアトリエ工房として利用できる方策を検討する考えはないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 平和主義・基本的人権・地方自治などを脅かす憲法改正は必要ないと考えるがどうか
- (2) アベノミクスの加速は、さらなる貧困及び格差の拡大と地域経済の衰退につながると思うがどうか

2 災害に強いまちづくりについて

- (1) 平成28年熊本地震から得た教訓は何か
- (2) 新耐震基準適用後の住宅について、耐震診断と耐震補強の補助制度を創設すべきではないか

3 子供の貧困対策について

- (1) 子供の貧困対策に向けた条例を設定すべきではないか
- (2) 就学援助制度について
  - ア 多世帯同居の場合の認定は、子育て世帯の収入のみで判断すべきではないか
  - イ 新入学児童生徒学用品費は、支給時期を早めることや貸付制度などを創設し、入学前に支給できるようにすべきではないか
- (3) 学習支援事業は、英語、数学の2教科を対象としているが、他の受験科目についても対応すべきではないか

4 高齢者の生きがいづくりについて

- (1) 「高齢者の社会参加の促進による生きがいづくり、自己実現のための支援を行うとともに地域における社会活動の推進を図る」ために、地域に高齢者が集える場が必要と考えるがどうか
- (2) 生きがいづくりを進めるために、市民・地域・行政を結びつけるコーディネート者を配置してはどうか
- (3) 老人の憩いの場を充実させるために、老人いこいの家の改修を行う

べきではないか

## 5 文化振興について

(1) 新設された観光文化スポーツ部のもとで、市民への文化振興をどう推進していくのか

(2) 芸術・文化と文化財の活用について

ア 秋田市の歴史や文化を総合的に学ぶ講座を開催すべきではないか

イ 小中学校の学習に民謡や民舞、文化財などを教材として取り入れ、ふるさとを再発見できる機会をつくってはどうか

ウ 秋田民謡・民舞を観光資源として活用すべきではないか

(3) 県・市連携文化施設整備に伴う市文化会館について

ア 今後のあり方について、市民に説明し、意見を聞くべきと思うがどうか

イ 市文化会館は、存続すべきではないか

## 6 生活環境の保全について

(1) ごみ屋敷条例は、福祉的な支援に重点を置いたものにすべきではないか

(2) 見守り・再発防止のための対策を盛り込むべきではないか

## 7 地域の諸課題について

(1) 雄和サイクリングターミナルについて

ア 市民に施設の方針を説明し、意見交換などをすべきと考えるがどうか

イ 入浴施設を復活させ、利用者の利便性を高める考えはないか

(2) 雄和高尾山レクリエーション施設について、高尾山荘及びその周辺のトイレ整備など、より快適に利用できるようにすべきではないか

1 新・県都『あきた』成長プランの成長戦略について

- (1) 平成28年度予算における最大の特徴は何か、また、同プラン推進のため、計画の初年度としてどう執行していくのか
- (2) 地域産業振興における最大のポイントである市内経営者が抱える悩みや課題の解消にどのように取り組み、振興を図ろうとしているのか
- (3) 誘致企業数及び雇用創出数について、単年度の数値目標を設定する考えはないか
- (4) これまでの企業誘致の実績についてどのように認識しているのか、また、ターゲットとしている産業分野の企業を誘致するため、具体的にどのような取り組みを実施しているのか

2 「秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想」について

- (1) 同構想の検証において、イオンタウン株式会社の計画をきっちりと聞いた上で判断し、市民に納得できる説明をすべきではないか、また、双方の妥協点を探ることが必要と考えるがどうか
- (2) 本市の雇用状況の中長期的に考えることより、短期的にでも改善することこそ最優先に考えるべきではないか
- (3) 多核集約型コンパクトシティを実現するため、イオンタウン株式会社の同構想による投資を利用すべきではないか

3 高齢者福祉と医療について

- (1) 複雑かつ多岐にわたる高齢者のニーズをどのような方法で把握し、次期高齢者プランに反映させていくのか
- (2) 特定施設入居者生活介護と地域密着型特別養護老人ホームの設置計画の見通しはどのようになっているのか、また、昨年度以降入所待機者の状況に変化はあるのか
- (3) 地域包括ケアシステムを実現するために昨年度から制度化された地域ケア会議はこれまで何回開催されたのか、また、医師、歯科医師及

び薬剤師の参加状況はどうか

(4) 今後増加が見込まれる在宅医療の需要に対して、具体的にどのような取り組みを進めていくのか

#### 4 障がい者福祉と医療について

(1) 本市が主導する形で、強度な行動障害などを持つ患者の受け入れについて、関係者が将来の方向性を検討する協議会を立ち上げる考えはないか

(2) 障がい者の地域生活支援拠点の整備に向けて実施している、関係施設に対する調査の進捗状況はどうか

(3) 障害者差別解消法の施行を受け、障がい者差別解消に関する条例を設定する考えはないか、また、障がい者差別解消に関する市職員の対応要領を策定する考えはないか

#### 5 高齢者コミュニティ活動創出・支援事業の取り組み状況と今後の展開について

(1) 事業初年度として、昨年度は具体的にどのような取り組みが行われ、どのような成果が得られたのか

(2) 事業開始2年目として、今年度は東京大学と民間事業者との連携をどのように図るのか、また、どのように事業を展開し、成果につなげていくのか

#### 6 第2次秋田市公共交通政策ビジョンについて

(1) バス路線の再構築の考え方と市民ニーズをどのように反映させるのか

(2) 多核集約型コンパクトシティ実現のために重要な鉄道とバスの連携について、今後どのように進めていくのか

(3) 路線バスの利用者拡大に向けたこれまでの取り組みはどうか、また、今後どのような取り組みをしていくのか

7 再生可能エネルギーについて

- (1) 地域の農業振興やエネルギーの地産地消の可能性を秘めた小水力発電についてどのように考えているのか

8 災害時のマンパワーの確保と情報の収集・伝達について

- (1) 災害時における最大の課題である市職員のマンパワーの確保について、具体的にどのような対策を講じているのか
- (2) 災害時の情報を自動的かつ確実に市民に伝えるため、緊急告知ラジオを危険地域の世帯に配付するなどの考えはないか
- (3) 福祉避難所における開設運営訓練の実施規模と頻度はどうか

9 中央市民サービスセンターと市民交流サロンについて

- (1) 中央市民サービスセンターに協働・分権統括監を配置したねらいは何か
- (2) 市民交流サロンの利用状況はどうなっているのか
- (3) 市民交流サロンを中央市民サービスセンターの所属施設としたのはなぜか
- (4) 市内7地域に市民サービスセンターが設置され、市民活動等の拠点となる施設が充実した現在、市民交流サロンの位置づけをどのように考えているのか



1 まちづくりについて

(1) 第6次秋田市総合都市計画について

ア 同計画策定の根拠となっている都市計画法は、これまで幾度となく改正されているが、本市のまちづくりを進めやすくなってきているのか

イ まちづくりの課題の一つとされている「マイカー依存の高まりによる交通渋滞や公共交通への対応」については、これまでどのように取り組んできたのか

ウ コンパクトシティ構想の実現に向けた課題をどう認識しているのか

エ 今年度は同計画における各政策テーマの検証年度となっているが、検証に当たり、それぞれの達成度をはかる具体的な指標は何か

オ 将来的に同計画を見直す際に、議会の意見はどう反映されるのか

(2) 中心市街地活性化について

ア これまで中心市街地のにぎわい創出に多額の予算を費やしているが、効果をどう評価しているのか、また、どのような状態になれば目的を達成したと言えるのか

イ 中心市街地に投資を集中させていると感じるが、中心市街地のみにぎわいが必要と考えているのか、また、他地域と比較して不平等との意見に対する認識はどうか

ウ 県都秋田市の中心市街地における特徴として、自信を持って他都市に売り込めるものはあるのか

エ 中心市街地活性化の取り組みについて市民の満足度に係る調査は行っているのか、また、その結果をどう受けとめ、本市の顔づくりにどう生かしていくのか

(3) 県・市連携文化施設について

ア 郊外に建設候補地を設定しない理由は何か

イ 利用者が来場する際に使用する交通手段の分析を行っているのか

ウ 駐車場は利用者の目線に立って整備するものと思うが、これまで出された意見や要望をどう認識しているのか、また、整備計画にはどのような形で取り入れられていくのか

(4) 旧県立美術館について

ア 当初は解体する予定であった旧県立美術館を利活用する方針に転換した理由は何か

イ 利活用に当たっては、多額の修繕費及び維持管理費を要することが見込まれるが、想定される金額はどの程度か、また、それは市民の理解を得られると考えているのか

(5) エリアなかいちについて

ア 商業施設について、テナントの状況や今後の方針などの定期的な報告はあるのか、また、運営に対する評価はどうか、さらに、課題と考えていることはないのか

イ 現在の市当局の関与はどの程度か

(6) 県・市・JR東日本株式会社による三者協定について

ア 取り組みの具体的内容は示されているのか、また、市当局はどの程度関与していくのか

(7) 「秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想」について

ア 提案趣旨と市当局における検証の視点との間には大きなずれがあると思うがどうか

イ 地方創生に合致しないとの判断に至った要因は、マイナスの要素しかとらえていないところにあると思うがどうか

ウ 観光客の増加や経済波及効果の観点からも、周辺市町村に広く理解を求めるべきと思うがどうか

エ 提案者であるイオンタウン株式会社の、本市に対する貢献度をどう評価しているのか

オ 民間と協調していくことが行政運営の根本であると考えことから、新・県都『あきた』成長プランに掲げる「ともにつくり ともに生きる 人・まち・暮らし」の基本理念のもと、今こそ協働型のまちづくりを推進すべきではないか

## 2 防災行政について

### (1) 平成28年熊本地震について

ア 同地震に学ぶものは何か

イ 被災地に対する本市からの支援活動として、どのようなことを行ったのか

(2) 災害対応に係る意識啓発、継続的な訓練及び啓蒙活動はどのように行っているのか

(3) 本市の防災行政無線は、有事の際に機能するよう適切に点検されているのか

(4) 本市における備蓄体制は十分に整備されているのか、また、物資や資機材などの調達に係るマニュアルの整備状況及び定期的な見直しについてはどうか

(5) 秋田市地域防災計画において、県の地震被害想定調査報告書をもとに地震対策を策定しているが、その内容は十分市民に周知されているのか

(6) 市内各地に設置されている半鐘については相当老朽化が進んでいると思うが、現状に対する認識はどうか、また、今後の管理のあり方についてどう考えているのか

## 3 観光振興について

(1) 仙台市や盛岡市においても、本市の観光PRなどを積極的に行うべきではないか

(2) 東北6市が連携して観光PRなどに取り組む体制はどうか、また、今後は体制を強化していく必要があると思うがどうか

(3) 東北6市のネットワークを生かした東北の魅力発信の意味からも、東北六魂祭の継続開催を提案してはどうか

## 4 保育行政について

(1) 認定こども園への移行は進んでいるのか

(2) 保育士不足対策について

ア 国による保育士の待遇改善策だけでは効果が薄いと思うが、どう認識しているのか、また、今後、本市独自の対策を講ずる考えはないのか

イ 潜在保育士の実態はどうか、また、今後の効果的な事業展開をどう考えているのか

(3) 待機児童等対策について

ア 保育サービスを必要としながら利用できない児童数が年間を通じてゼロとはなっていない現状の解消に向けた方策はあるのか

イ 本市と同様の課題を抱える他の自治体との情報共有や課題解決のための連携した取り組みはあるのか

ウ 本市における家庭的保育事業の現状はどうか

5 エダマメ栽培について

(1) 本市における農家のエダマメ栽培への取り組み状況はどうか

(2) 本市が目指す、産地の特性を生かしたブランド化の推進として、具体的にどのように取り組んでいくのか

6 市道の維持管理について

(1) 修繕に係る基準は設定しているのか、また、時代に即した見直しは図られているのか

(2) 修繕の要望にこたえられないケースとしてはどのようなものがあるのか

(3) 今後、道路パトロールを強化していく考えはないか

(4) ますます劣化や損傷が進む中、修繕に係る予算の確保は十分と考えているのか

(5) 市民サービスセンターにおける道路修繕の受け付けについて

ア 従前の体制との大きな違いは何か、また、効率性についてはどうか

イ 現在の体制は市民に浸透していないと思うがどうか

ウ 市民サービスセンターで修繕するかどうかの判断基準はあるのか

7 スポーツ少年団及び運動部の活動について

(1) 事故防止の指導は十分と考えているのか

(2) 万が一の際の補償はどうなっているのか、また、その補償について、  
保護者への周知はどうなっているのか

8 地域の諸課題について

(1) 上北手地区コミュニティセンターについて

ア 現在の施設は時代に合わなくなっていると思うがどうか

イ 早期に建てかえが必要と考えるがどうか



1 市長の政治姿勢について

- (1) 若者の雇用創出と子育て支援は、次世代の市民が誇れる秋田となったのか

2 縣市連携について

- (1) 縣市連携のノウハウをもって、ドーム型スポーツ施設の整備を、県・市連携文化施設より優先すべきではないか
- (2) 現在のエリアなかいちをどう評価しているのか
- (3) 旧県立美術館、中央図書館明德館、佐竹史料館さらにはその周辺施設も含め、県・市連携文化施設として一体的な整備計画を練るべきではないか

3 泉・外旭川新駅（仮称）について

- (1) 新駅の整備については、泉踏切にホームのみの設置で十分ではないのか

4 外旭川地区大型複合商業施設構想について

- (1) 本市の将来に寄与するように、同構想をテーブルに上げるべきではないか

5 秋田市業務継続計画（BCP地震編）及び本市の安全対策について

- (1) 秋田市業務継続計画は地震編だけでよいのか、また、同計画策定以前の防災対策との違いは何か
- (2) 民間事業者における、同計画策定の進捗度合いを把握し、指導すべきではないか
- (3) 災害時における、市民の座及び市庁舎周辺の絶対的な安全性は確保されているのか
- (4) 本庁舎以外に本庁舎と同等の情報処理機能を持たせ、ダブルセーフ

ティーネットを構築するべきではないか

## 6 市職員の対応と管理について

- (1) 本市のファイリングシステムはどうか、また、「詳しい者が不在」という対応はなくせないのか
- (2) 秋田市人材育成基本方針及び秋田市職員研修実施計画の策定方法と成果の検証と評価はどうか
- (3) 次の窓口への案内は、口頭だけではなく、メモ等を渡して案内するべきではないか
- (4) 総合案内業務に接客ロボットの導入を将来的に検討するべきではないか
- (5) 庶務事務システム導入の経緯と利点について、また、出退管理を含まない理由は何か

## 7 健康なまちづくりについて

- (1) 地域包括ケアシステムと統合医療の推進で、地方創生に取り組むべきではないか
- (2) 健康な食生活を支える地域産業づくりに取り組むべきではないか
- (3) 地域コミュニティの構築とQOL（生活の質）の向上に寄与する独自の政策はどうか
- (4) 統合医療のまち「あきた」を目指してはどうか

## 8 介護費の抑制について

- (1) 本市1人当たりにかかる介護費用の現状はどうか、また、本市は、国から財政面で優遇される自治体になれるのか

## 9 教育について

- (1) 将来のデジタル教科書についての認識はどうか、また、併用となれば、使用しないあるいは使用できないといった児童生徒への対応はどうか

10 平和祈念について

- (1) (仮称)土崎みなと歴史館に、戦争遺品も展示するべきではないか

11 救急出動について

- (1) 救急出動の見きわめと、一部有料化についての考えはどうか

12 北部地域の課題について

- (1) 都市計画道路大浜上新城線の計画地を含む圃場整備の現状はどうか  
(2) 飯島地区に建設予定の秋田港火力発電所(仮称)からの温排水を利  
活用するべきではないか